

魅力ある職場環境づくりについて

2025年10月29日

北海道生コンクリート工業組合

コンクリート技術センター道央試験所は、もともと 一般財団法人 北海道コンクリート技術センター(1987年4月財団法人として設立)が、試験業務を2018年1月末日で終了することを告知したことに端を発し、紆余曲折を経て工業組合が試験設備等を引き継ぎ2020年7月から全生連認定の共同試験場として再スタートしました。

これに伴い工業組合の当面の課題は、道央試験所の①機材の老朽化対策と②試験要員の確保と世代交代となりました。①については、北海道中小企業団体中央会の「課題解決型組合集中支援事業」や国の「ものづくり補助金」を活用することによって課題の解決を早めることができました。②については、2022年度に新卒者2名(男性1名、女性1名)を採用、2026年度に新卒者1名(女性)する予定で、一層の若返りが見込まれる状況となりました。

一方、「働き方改革」による魅力ある職場づくりが重要とされ、職場環境の改善などによる生産性の向上が新たな課題として浮上しています。業務の合間に心身を休めることができる休憩所(リフレッシュルーム)の設置は、安心して働ける環境づくりに不可欠とされています。また、小規模事業所の場合、フリードリンクや昼食費などの補助による生活支援は人材の定着促進や職員のモチベーション向上にも寄与するものと考えられることから、職員のニーズを踏まえながら取り組んでいく方針としています。

現 状 **職員満足度が高いといえない職場環境**

- ・ 1階試験室フロアーにスペースを確保し各自の机を配置。
- ・ 狭隘のため閉塞感、若年層にとって居心地のいい場所とは言い難い。
- ・ 休憩時間は、各自で場所を見つけ食事・休憩する環境。

取組① **リフレッシュルームの整備** (2025年度中、2階スペース活用、費用概算:300~400万円)

- ・ 仕切り板付きのカウンターテーブルを設置し一息つける空間を確保。
- ・ 昼食、休憩のほか、各席に電源を確保し業務に集中したい場合にも利用可能。
- ・ お客さまとの打ち合わせや小会議が可能なコーナーを設置。

取組② **フリードリンク、昼食費の定額※補助** (職員の意見を踏まえながら随時取り組み、※(案)出勤日1日当たり500円)

期待される効果→ 従業員満足度、モチベーションの向上、人材の確保・定着の効果